



平野の乾田化と都市化の拡大（現代）

平成10年頃の新潟市中心部

占領下の新潟

昭和20(1945)年9月、アメリカ軍が新潟市に進駐し、市公会堂に軍政部を設置した。新潟飛行場は接収され、軍需工場は操業が停止された。極端な物不足のため闇市が出現し、農村には食糧の強制供出が割り当てられた。懸念されていた進駐軍兵士と市民とのいさかみや事件は少なく、交流することもあった。

自作農の創出

昭和22(1947)年に地主から農地委員会が農地を買い上げ、小作農民に売り渡す農地改革が進められた。新潟県内の改革は、同25年に終了し、自作農地は9割以上になった。地主制は消滅し、食糧増産に積極的な農民が住む、自作農家中心の村落に変わった。

舟農業からの脱却

昭和23(1948)年、東洋一と言われた栗ノ木排水機場が運転を開始し、国・県営の大排水機場が順次整備された。農家は、耕地整理組合や土地改良区を組織し、農地を統一規格に整備した。市域の農地は、同35年ごろにはほとんどが整然と区画された乾田となった。動力耕運機など農機具の導入や農業技術の改良があり、稲作生産の収量増大と安定が実現した。

都市の復興

電力・石油不足の中で復興を支えたのは、水溶性天然ガスであった。敗戦直後はバスや工場の燃料であったが、昭和25(1950)年ごろから尿素やメタノールを生成するガス化学工業の原料に用途が広がり、工業復興の中心となった。朝鮮戦争による特需があり、各産業が恩恵を受けたことも復興を支えた。機雷の掃海が完了し、同27年に安全宣言が出された新潟港の貨物量は、同31年に戦時下を超えた。

昭和の市町村合併

地方自治法が施行された昭和22(1947)年、現市域は1市48町村であった。市町村の財政強化のため、同28年から全国的に合併が進められ、同36年に3市12町村になった(P35 近現代(明治～平成)新潟市域の合併変遷図参照)。



終戦直後の新潟市本町通 新潟中央青果株式会社所蔵



栗ノ木排水機場呑口側 亀田郷土地改良区所蔵



民家に残る天然ガスのタンク(中央区) 昭和59年

すすむ地盤沈下

昭和31(1956)年、臨港地区に浸水被害が起きた。同32年から、市内各所にゼロメートル地帯が広がり、住宅や工場、農地にも被害が出た。天然ガスの採取によって発生した地盤沈下であった。このため、柳都新潟の象徴であった西堀をはじめ、東堀、早川堀など多くの堀が埋め立てられた。

新潟の公害

昭和30～40年代、工業化の進展に伴い、大気汚染・水質汚濁・騒音などが大きな社会問題となってきた。公害の規制を求める住民運動が盛んになり、企業と新潟市は対応を迫られることになった。

阿賀野川では有機水銀中毒（新潟水俣病）が発生し、昭和60（1985）年までに690人が患者と認定された。被害者の認定をめぐり、現在でも関係機関で話し合いが続けられている。

新潟地震

昭和39（1964）年6月16日、マグニチュード7.5の新潟地震が発生した。被害は新潟市の中心部に集中し、家屋損壊・浸水・火災・液状化現象による建物の倒壊などで市民生活に大きな影響が出た。

地震後、工場の集団移転や住宅団地の郊外化が顕著となり、^{とよさか}豊栄（北区）・^{くろさき}亀田（江南区）・黒埼（西区）地区などとの一体化が進んだ。

減反と園芸産地

昭和40年代前半、米の生産が需要を上回り、米価抑制と生産調整（減反）が始まった。

機械化による省力化や兼業農家の増加が急速に進む中で、転作奨励が行われ、各地区に園芸作物主産地が誕生する。黒埼（西区）の茶豆、南浜（北区）・大形（東区）のバレイショなど、それぞれの地区を代表する特産物ができた。

新潟東港と新潟西港の開発

昭和38（1963）年、国土開発の一つとして工業港（新潟東港）の建設が着工された。東港は建設途上の同44年に開港し、その後、国家石油備蓄基地・LNG（液化天然ガス）輸入備蓄基地・国際コンテナ埠頭などが整備されて日本海側の貿易中枢港となった。

昭和40年代後半から、新潟西港の再開発も計画されたが、佐渡汽船発着場の移転をめぐり強硬な反対運動が起きた。万代島に近代的なフェリーターミナルが完成したのは同56年のことである。

高速交通の結節

昭和48（1973）年、新潟空港にハバロフスク線が開設され、以後、北東アジアを中心に国際線が増えていった。同57年に上越新幹線が新潟～大宮間で開通し、新潟と首都圏は完全な日帰り圏内となった。また、同60年に関越自動車道、平成9（1997）年に北陸自動車道、磐越自動車道が全線開通し、首都圏・京阪圏への交通条件が整った。新潟市と青森市を結ぶ日本海沿岸東北自動車道も、県内部分はほぼ開通している。新潟は高速交通網の日本海側の結節点となった。



一日市（東区）から見た阿賀野川下流域



倒れた川岸町の県営アパート



くろさき茶豆 広報課提供



東港に停泊中のLNG大型タンカー



高速道路が結ぶ中央インターチェンジIC上に、日本海、新潟島、鳥屋野潟が見える 平成9年